

2020 7月 十三公民館だより

発行 十三公民館 TEL・FAX 91-1755

令和元年度各競技大会等の一部日程決まる！！

十三公民館・十三地区老人会連合会共催の各競技大会等の日程については毎年5月下旬に各地区の老人会長出席による、各種競技大会実行委員会を開催して決定しています。

今年は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため5月中下旬まで休館していたこともあって、各種競技大会実行委員会は未だ開催していません。

新型コロナウイルス「緊急事態宣言」が解除されたとは言うものの、第二派、第三派の襲来も危惧されており「3つの密」を回避するため、7月のカローリング大会は屋内競技のため中止します。8月のグラウンドゴルフ大会、9月のペタンク大会、11月の男性料理教室の実施の有無や日程については、各種競技大会実行委員会を開催して決定します。公民館事業として実施している故郷ふれあい子供広場、オープン参加のパークゴルフ大会などの日程が決定していますのでお知らせします。



故郷ふれあい子供広場

- ・日時 令和2年8月17日(月)午前9時
- ・場所 十三公民館二階集会室



福老杯争奪

パークゴルフ大会

- ・日時 令和2年10月31日(日)午前9時
8時30分より受付開始
- ・場所 氷見運動公園パークゴルフ場 (小雨決行)



異世代交流 ソバ打ち体験教室

- ・日時 令和3年1月16日(土)午前10時
- ・場所 十三公民館一階調理実習室



7月の講座案内

講座名	曜日	実施日	時間	講師名
詩吟	月	6日・13日・20日・27日	10時30分～	平井静子先生
手芸	火	7日・14日・21日・28日	13時00分～	
茶道(保育園)	木	未定	10時00分～	
三味線	木	9日・23日	19時30分～	山下茂昭先生

祇園祭りと新型コロナウイルス

毎年7月13日、14日に催行される祇園大祭は、氷見の夏を告げる最大の祭りです。

この祭りの起源については「元禄年間」氷見で疫病が流行しそれを治めるため、疫病封じの神である、京都の祇園神(牛頭天王)を勧請し祀り、悪疫退散を願ったことが始まりと伝えられています。

この時代、氷見町を襲った悪疫は天然痘などの伝染病であるという、この退散祈願のため、京都八坂神社から悪疫よけの神として祇園神の分霊を迎え、平癒を願ったところ悪疫が治まりこれに感謝して、神輿に祇園の神霊を奉遷して御座町町内を巡行したことに始まり、やがて南北あげての大祭になったといわれています。

悪疫の流行は、近世では明治時代に氷見の一部で悪疫が流行、明治12年夏には越中各地でコレラが大流行し、死者1万数千人、明治19年には氷見町にもコレラが大流行しました。この時の死者は氷見町だけで六百余人あったそうです。

今年の祇園祭りは、新型コロナウイルス感染症にともなう来場者、関係者や住民の安全を考慮し、神輿、山車や太鼓台の巡行をとりやめ、日宮神社・北六町、日吉神社・南十一町ともに神社や御旅所での神事を神官や宮総代他の皆さんで執り行うとのことです。

北六町の宮総代の一人は、祇園祭りは本来このような悪疫を退散祈願するまつりだから、盛大に催行すればより効果があるのではないかと。しかし、令和の時代になって今私たちは新型コロナウイルスで苦しんでいます。感染拡大を防止することとして緊急事態宣言が発令され、感染確認地域との往来の自粛、「密閉」、「密集」、「密接」の「3つの密」を回避する行動、マスクの着用やうがいの徹底など、自主的な取り組みが求められるようになり、ライフスタイルとして身に付けていかなければならないと考えています。今は他地域との往来も緩和されましたが、これからも、マスクの着用や「3つの密」回避する行動を余儀なくされる暮らしになっていくだろうと語っていました。

